

# 問 質 連 関



公明党  
長谷部 竜作  
議員

## 認知症施策について

**問** 徘徊者の見守り体制はどうか。

**答** 保健福祉部長 認知症の正しい知識と理解のため、認知症サポーター養成講座を行っています。また、民生委員の方々が日頃の見守り活動の中で異変を察知した際には、地域包括支援センターに連絡をいただいています。

**問** 徘徊搜索模擬訓練（声掛け訓練）を実施してはどうか。

**答** 保健福祉部長 現在市では、徘徊搜索模擬訓練は行っておりません。認知症サポーター養成講座において、声掛け等の取り組みを実施しています。

**問** 徘徊による行方不明者等の近隣自治体への連絡体制はどうか。

**答** 保健福祉部長 近隣の警察から放送の依頼があれば、防災行政無線を活用しています。近隣市町も同様に協力をいただいています。



認知症サポーター養成講座の様子

## 子育て支援について

**問** 公営塾の進捗状況はどうか。

**答** 教育部長 松尾公民館における公営塾の本格開講は、7月中旬を目指しています。

**問** 対象を中学生までに拡大してはどうか。

**答** 教育部長 今後軌道に乗れば、中学校等に広げることも可能ではないかと考えています。

## 受動喫煙防止対策の取り組みについて

**問** オリンピックに向けて、公共の場を全面禁煙にすべきではないか。

**答** 市長 まずは庁舎の敷地内禁煙を目指して、積極的に取り組んでいきます。



公明党  
本山 英子  
議員

## まちづくりについて

**問** まちづくり協議会の目的と、今後これをどうまちづくりにつなげていくのか。

**答** 総務部長 地域の課題は、地域をよく知る住民の皆様が主体的に取り組み、行政がこれを支援し、こうした市民協働手法による地域自治の推進を図っていきたいと考えています。準備段階として、まだ少ない団体ではありますが、補助金を交付するやり方を用いて、地域まちづくり協議会という団体を育て上げていくという方向で取り組んでいます。

**問** 地域まちづくりモデル事業と地域まちづくり事業には、なぜ審査会がないのか。

**答** 市長 自主的に取り組んでほしいということ、政策的にお願いをしてきたものですから、審査会というよりは、ご相談をさせていただきながら積極的にお願いをして、その地域の区長とご相談をしながら、取り組んでいただけてきたということです。

**問** 副市長 議題の設定いかんによっては、そういった問題を審査する機会が多々あると思いますので、ご趣旨は参考にさせていただきますと思います。

つて健全な財政運営の確保に資するため、山武市補助金等審査会を設置する」とあるが、あまり行われていないようである。今後は外部委員も入れて、第2条に加え、補助金の必要性、公益性、対象事業の有効性、妥当性、適切な事務処理に関することを審査されてはどうか。



**問** 山武市補助金等審査会設置要綱があるが、この中に「係る予算の執行の適正化を図ることを目的とし、補助金等の全般について見直しを行い、も

